2026.
11
株式会社ジムブレーン社外報
from JB Print techno

Evolution
Growth
Advanced
Opportunity

EGAO通信

Pick up information
色のキホン「RGB」と「CMYK」ってなに？

K社長のつぶやき
「Give＆Give」



株式会社ジムブレーン

Pick up information

色のキホン「RGB」と「CMYK」ってなに？

PCで作ったチラシや広報を印刷してみると、作ったデータと色味が違った…という経験はありませんか？この原因はモニター画面と印刷物の「色の作り方」の違いにあります。

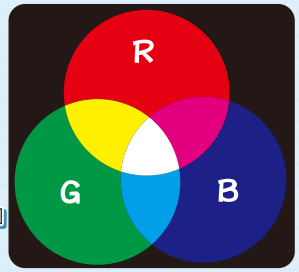
人が見分けられる色は約187～750万色とされており、通常の条件下では約187万色見えると言われています。しかし、それらの色を作るために使われる基本的な色はたったの３色で、モニター画面と印刷物ではこの基本の３色が異なることから色味に違いが出てくるのです。

それでは、モニター画面での色の作り方と、印刷物の色の作り方を比較してみましょう。

モニター画面の基本色

基本色

R（レッド）
G（グリーン）
B（ブルー）

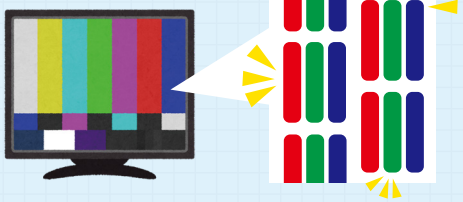


※色がない部分は『黒』

重ねると白くなる

基本色を光らせることで色をつくっている

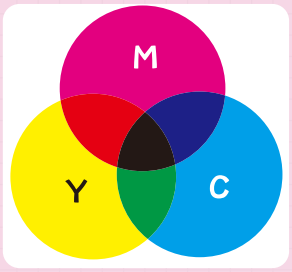
機械内部イメージ



印刷物の基本色

基本色

C（シアン）
M（マゼンタ）
Y（イエロー）



※色がない部分は『白』

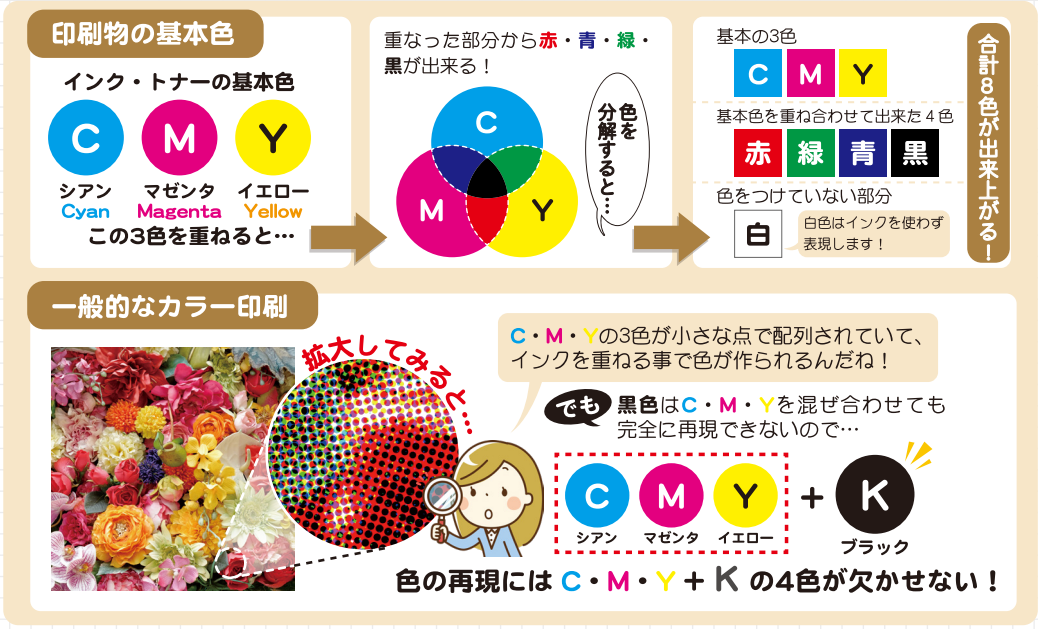
重ねると黒くなる

インクを重ねることで色をつくっている



RGBでは色を広範囲に鮮やかに映し出せることから、テレビやモニター画面ではこの方法が使われます。では印刷物もＲＧＢにすれば綺麗な印刷が出来るのでは？と思いませんか･･･？実はＲＧＢで色を作るには「発光」が必要です。

それに対して印刷物の場合は発光をしないため、ＣＭＹを使用します。印刷時、基本的にはモニターの色に近づけようと変換しますが、CMYでRGBの色を100％再現することは不可能といわれています。また、CMYの3色だけで純粋な黒を作るのは難しいので、鮮明な黒や輪郭をくっきりさせるためにK(キープレート＝黒)が使用されています。



K社長のつぶやき

第108話「Give&Give」



仏教の教えに「小善根福徳の因縁」という言葉があります。これは人の善行の根底には、福や徳を得たいという虚仮雑毒（見返りを期待する戯言・空言）の因縁があると言う意味です。

「私がしてあげた」「誰々にしてあげた」「何々をしてあげた」という三輪によって「だから見返りが欲しい」という心性（自己欲）が現れて、見せかけ・まやかしの善行を知らず知らずのうちに人は行っています。

本当の福や徳を得るためにも三輪を空寂しながら「Give&Take」ではなく「Give&Give」でお客様に尽くして参ります。